



# 「横浜10大ニュース」一覧

## (昭和56年～平成30年)

横浜市中心図書館調査資料課  
(協力:横浜市市民局広聴相談課)

横浜市では毎年、市民の投票によって「横浜10大ニュース」を決定しています。  
このたび、企画展示「平成の横浜10大ニュース」の開催にあたり、  
「横浜10大ニュース」がスタートした昭和56年から平成30年までのトップ10を一覧にしました。

※なお今日では不適切と思われる語句や表現が一部に見られますが、  
当時の時代を反映するものとしてそのまま掲載しておりますことをご了承ください。

展示期間：平成31年4月16日（火）～5月19日（日） 会場：中央図書館3階展示コーナー

### 昭和56年(1981年)

1位	米軍貯油タンク(金沢区)が、爆発、炎上
2位	横浜駅自由通路全面開通。地下交通広場も整備
3位	区役所、支所の昼休み窓口業務始まる
4位	横浜開港資料館オープン
5位	市の人口280万人を越える
6位	横浜市健康福祉総合センター完工
7位	21世紀プラン(横浜市新総合計画)に国際港都建設審議会がゴーサイン
8位	都心臨海部総合整備計画基本計画発表、愛称「みなとみらい21」と決定
9位	市発行のヤング向けガイドブック「ヨコハマウォーキング」市内のベストセラーに
10位	上海市曲技団の横浜公演開催。曲芸パンダ「ウェイウェイ」に人気集中

### 昭和57年(1982年)

1位	本牧の横浜海浜住宅など米軍3施設81万平方メートルが返還される
2位	台風18号市内各地に被害をもたらす(床上浸水2,221棟)
3位	救急医療情報センター、健康福祉総合センター内にオープン
4位	市長選で細郷道一市長が再選
5位	米軍機墜落事故(S52.9)の被害者土志田(旧 林)和枝さん死去
6位	世界最長の斜張橋「横浜ベイブリッジ」の海上工事が始まる
7位	「みなとみらい21計画」に対する環境アセスメントの審査書公示。実質的にゴーサイン
8位	横浜市と国連の共催でアジア太平洋都市会議を開催。16都市が参加
9位	シルクホテル経営不振 23年の歴史に幕
10位	全国初の職能開発総合センターがオープン(6施設を併設)
	柏尾川に15年ぶりにコイやフナ戻る。鶴見川でもアユ発見

昭和58年(1983年)	
1位	「ホームレス連続殺傷事件」の容疑者として中学生を含む少年グループ逮捕
2位	運輸省は、みなとみらい21地区内石造りドックに日本丸の保存を決定
3位	みなとみらい21計画着工、起工式とともにフェスティバル開催
4位	横浜商業高校(Y校)が甲子園春夏連続準優勝
5位	市民防災センター神奈川区沢渡に完成
6位	市、三菱重工、三菱地所の3者で、MM21地区の街づくり協定締結
7位	「国際女子駅伝」横浜スタジアム～金沢区福浦折返しで実施
8位	域中核総合病院第1号南部病院、16診療科目を備えて完成
9位	統一地方選挙投票。市議選投票率は前回(54年)を4.13上回る55.26%
10位	行政サービスコーナー横浜駅東口にオープン
	59年度予算概算要求枠ゼロとする方針決定。ゼロシーリングは市で初
昭和59年(1984年)	
1位	帆船「日本丸」の横浜への引き渡し式、同船上で実施
2位	関内～港の見える丘公園間を結ぶ2階建バス「ブルーライン」発車
3位	磯子区洋光台駅前に「横浜こども科学館」オープン
4位	ねたきり老人、身体障害者等の世帯に対して、家事援助介護等のサービス提供する「横浜市ホームヘルプ協会」設立
5位	MM21埋立事業の本格的工事着工を記念する「礎石沈定式」旧三菱重工横浜造船所1号ドック前で開催
6位	来年3月の国鉄ダイヤ改正でひかり号の新横浜停車本数上下で51本に増加
7位	市会本会議で「非核兵器平和都市宣言に関する決議」を賛成多数で可決
8位	市営地下鉄1号線上永谷～舞岡間、3号線横浜～新横浜間を60年4月営業開始と発表(3月に繰り上げ)
9位	港北区ニュータウン内ごみ焼却工場と余熱利用の地区センター、老人福祉センター、障害者研修保養センター完成し、「都筑ふれあいの丘」誕生
10位	新人形の家を山下公園前に着工。世界1の収集規模で開館は61年5月の予定
昭和60年(1985年)	
1位	横浜駅東口に世界最大級の売り場面積をもつ「横浜そごう」開店
2位	新幹線「ひかり号」の新横浜駅停車が1日51本に増加。市営地下鉄が新横浜～舞岡間で延伸開業
3位	MM21地区ドックパーク(仮称)で日本丸の一般公開開始。初日に23,110人が訪れる
4位	南区浦舟町路上で深夜強盗を目撃追走した大学生2人が取り押さえた犯人に逆襲され、うち1人は死亡した
5位	自転車等放置防止条例が施行され、22の駅周辺が放置禁止区域となる
6位	山下公園通りに40基のガス灯が復元される
7位	金沢区並木第三小学校5年生が飛び下り自殺を図る
8位	61年秋の分区に伴う新区名 市民応募の中からA区は「栄区」B区は「泉区」と決定
9位	「よこはま21世紀プラン第2次実施計画(60～64年度)」を発表
	横浜市美術館(仮称)の実施設計発表。60年12月着工予定

昭和61年(1986年)	
1位	戸塚区が分区され、栄区泉区が誕生。山内支所に代えて北部支所開設
2位	館長に兼高かおるさんを迎え「横浜人形の家」が開館。約7000人の入館者を記録
3位	市長選開票がおこなわれ、現職の細郷道一氏が市長選過去最高の得票率73.9%で3選された
4位	大雪で厚木市内等で東京電力の鉄塔が倒れ寒川町の取水口で停電。そのため市内5区約20万戸が1日以上断水
5位	豪クインズランド市から贈られたコアア2頭の一般公開始まる。愛称は市民公募による「ミナト」と「マリン」に決定
6位	市立下瀬谷中学で3年間にわたり教師の体罰が続発。13件延べ24人に被害
7位	横浜大洋ホエールズの来シーズン監督に前広島カープ監督の古葉竹識氏が就任
8位	婦人問題解決等に関する市民の活動交流を目的に女性センター(仮称)戸塚区上倉田町で着工
9位	旧市民ホールを建て替えた市民文化会館・関内ホールがオープン
10位	市大医学部が新たに老人のボケ治療法を解明する研究に着手
昭和62年(1987年)	
1位	市営地下鉄・舞岡～戸塚間(1.6キロ)が開業し戸塚～新横浜間がつながる
2位	横浜博覧会の実行主体となる財団法人が発足。博覧会の会期と略称(YES'89)が決まる
3位	金沢自然公園のコアラに待望の赤ちゃんが2頭誕生
4位	狂乱地価の対策として国土利用法に基づく監視区域の面積を100平方メートルに引き下げ11月から実施する
5位	市営地下鉄新横浜～あざみ野間の起工式が、港北ニュータウン内で関係者、地元住民ら1000人が参加して行われる
6位	建設省の「日本の道100選」に中区の山下公園通りから山手本通りに至る1.9キロが選ばれる
7位	聖マリアンナ医科大学横浜西部病院が完成。ベッド数は518床。地域中核総合病院としては市内2か所目
8位	国の指定史跡『称名寺庭園』(金沢区)が復元され、一般公開される
9位	64年3月開幕の『横浜博覧会(YES'89)』のマスコットマークの愛称が「ブルアちゃん」に決まる。青い地球(ブルーアース)が愛称の語源
10位	横浜市議選が行われる
昭和63年(1988年)	
1位	金沢区海の公園に海水浴場がオープン。市内に16年ぶりの海水浴場
2位	海の女王QE2がYES'89期間に洋上ホテルなどとして停泊することが決まる
3位	綱島駅前バス誘導員への暴力に仲裁に入った少年の傷害事件に横浜地裁は正当防衛と認定
4位	戸塚駅前に「横浜女性フォーラム」がオープン
	天皇陛下の御病状を気遣い、市内でも自粛ムードが広がる
6位	昭和52年米軍ジェット機墜落で娘を失った土志田さんが精神薄弱者授産施設「愛」を造る
7位	三菱地所がMM21地区25街区に日本一の超高層ビルの建築構想を発表
8位	横浜美術館が完成する
9位	市営地下鉄の全駅が終日禁煙になる
10位	63年度市予算案が発表される。総額2兆973億円で前年度当初に比べ、一般会計は8.0%の伸び率で地方財政計画6.3%、国家予算4.8%の伸びを上回る積極型

平成元年(1989年)	
1位	市政100周年・開港130周年を記念し横浜博覧会が開催される。191日間1,335万人
2位	世界最大の斜張橋、横浜ベイブリッジが開通。展望ラウンジ・スカイウォークも併せ横浜の新名所に
3位	昭和天皇崩御で平成に改元。1月9日から平成の業務スタート
4位	最大収容人員1万2千人の横浜アリーナがオープン。我が国最大の多目的イベントホール
5位	磯子区生まれの歌手美空ひばりさん死去
6位	山下公園の花火大会で爆発事故。2人死亡、7人が重軽傷を負う
7位	旭区廃棄物処理場から現金1億7500万円の入った金庫が見つかる
8位	豪華客船QE2が洋上ホテルとして72日間、大栈橋に停泊する
9位	新交通システム「金沢シーサイドライン」が新杉田～金沢八景間に開通する
10位	横浜博覧会開幕に合わせ横浜美術館、マリタイムミュージアム、動く歩道などがオープン
平成2年(1990年)	
1位	細郷市長が死去、市葬が3月7日に横浜アリーナで行われた
2位	高秀新市長が誕生。「安全」「安心」「安定」の街づくりを推進し、21世紀に向けて「ニューシティ横浜」の実現を目指す
3位	粗大ごみの収集方法が変わる。家庭まで直接取りに来てもらう申告・戸別収集方式となる
4位	飛鳥田一雄元市長が死去。10月29日市民葬が行われる
5位	横浜に住む坂本弁護士一家が行方不明になって1年となる
6位	高速神奈川3号狩場線(保土ヶ谷区狩場～中区元町)が開通。首都高速横羽線と横浜横須賀道路が結ばれ市内の道路混雑が大幅に緩和された
7位	横浜ベイブリッジに人気沸騰。4月から運行コースに取り入れた2階建バス「ブルーライン」も7月から増便
8位	台風20号の大雨で帷子川が氾濫、保土ヶ谷区天王町一帯が浸水した。市内各地で床上床下計1,722棟1,493世帯に被害
9位	みなとみらい21地区の25街区に日本一のつぼのランドマークタワー着工。完成は平成5年の予定
10位	イラクのクウェート進攻の影響による原油価格の上昇で、市は物価監視を強める。市内の灯油代は前月比で24%上昇
平成3年(1991年)	
1位	東京湾を囲む地域で、コレラの感染者が発生。アオヤギが疑われたが、感染経路不明
2位	パシフィコ横浜が7月に完成。10月には1万平方メートルの展示ホールも完成した
3位	JR東日本の特急『成田エクスプレス』が運行開始。横浜駅から成田空港へのアクセスがより便利になる
4位	湾岸戦争による市民生活への影響を最小限にしようと市は省エネPRをした。ベイブリッジのライトアップ中止に 長雨や台風の被害により野菜や果物が高値。市の中央卸売市場は供給安定。緊急対策に乗り出した
6位	市大医学部病院で高額医療機器導入をめぐり、放射線科の教授が汚職。逮捕
7位	県高野連は神奈川朝鮮高級学校からの加盟申請を正式に受理。日本高野連は3年度の各種大会への参加を認めた
8位	市は救命救急士の養成を始め4年度から全区に高規格救急車16台とともに配置することにした
9位	長崎・雲仙岳被災者救済のため、市町内会連合会が1億7467万円の救援金を募金で集め、市長のメッセージとともに長崎県に寄託
10位	住民基本台帳の電算処理がスタートし、住民票等が居住区以外でも受け取れる、市内転居の手続きも新居の区だけでできるようになった

**平成4年(1992年)**

1位	大和市で警官殺傷の容疑者が緑区長津田付近に逃走、幼稚園・小中学校が休校に
2位	学校五日制スタート。学校開放や市内施設が無料開放され、親子連れでにぎわう
3位	建設中のランドマークタワーの鉄骨組みが終了 296mの日本一の高さになる
4位	昨年(12人)に比べ、エイズ感染者が39人と急増。11月には県内の全保健所で無料検査の実施や世界エイズデーヨコハマ'92が開催されるなど。エイズ感染防止PRが強化される
5位	来季から“横浜大洋ホエールズ”が“横浜ベイスターズ”に名称変更。監督は近藤昭仁氏に
6位	暴力団対策法施行に伴い、県警が「暴力団排除特別対策本部」を設置
7位	市が一部の機関を除き第2・第4土曜閉庁に
8位	市消防局が救急救命士を高規格消防車に乗務させた
9位	車いすでも利用しやすいよう、路線バスにリフト付きバスが導入され、運行が開始された。市営による路線バスとしては大阪、京都に次ぎ3番目
10位	障害者スポーツ文化センター「横浜ラポール」と、全国初の総合医療保健施設「市総合保健医療センター」が港北区に完成。隣接する市総合リハビリテーションセンターや横浜労災病院と合わせ、新横浜のメディカルゾーンとしての街づくりが整う

**平成5年(1993年)**

1位	高さ296メートルの日本一の超高層ビル「ランドマークタワー」がオープン。展望フロアに長蛇の列
2位	「横浜八景島シーパラダイス」がオープン。入場者は当初見込みを大きく上回り連日多くの人で賑わう
3位	市営地下鉄3号線「新横浜～あざみ野」間開通着工から6年、港北ニュータウンを貫き、市北部と市中心部を結ぶ
4位	冷夏と長雨の影響で野菜が高騰。特にキャベツは前月に比べ83.6%と急上昇
5位	サッカー「Jリーグ」開幕。横浜マリノス、横浜フリューゲルスとの2チームとも初戦を飾る。ワールドカップ予選とも重なり、Jリーグ人気過熱
6位	中華街の路上で、男が警官2人を殺傷し、女性を人質に。1時間後、警察の説得により逮捕
7位	台風11号大暴れ。横浜では風速29.2m、雨量255mmを記録。がけくずれや停電の被害も発生
8位	缶とびんの分別収集本格実施。市内30%の地域が対象。平成7年度には100%実施をめざす
9位	来年度分区により誕生する新区名が一般公募した名称をもとに青葉区、都筑区に横浜市区名選定委員会が決定
10位	保土ケ谷区西久保町の今井川で不発弾見つかる。処理作業には、住民5300人が避難、JR東海道線等も運休し、約11万人に影響が出た

**平成6年(1994年)**

1位	輸入米の本格的な販売が始まる。国産米指向の一部消費者の買いだめなどから、米不足に。市内スーパーでも米を求める行列ができた
2位	横浜港で相次いで3人の死体が発見され、茨城県に住む母子3人とわかった
3位	8月の熱帯夜が観測史上初の23日となり、最低気温も観測史上最高の27.6度を記録する暑さ
4位	第10回国際エイズ会議がパシフィコ横浜で開催。世界122か国から科学者・患者感染者・支援者ら1万2千人が参加した
5位	行政区再編成により、新たに「青葉区」と「都筑区」が誕生した。港北・緑両区も新しく生まれ変わり、全市で18区に
6位	8年ぶりの記録的な大雪。鉄道などの交通機関に大きな影響が出たほか、停電・転倒などで123人の負傷者
7位	神奈川朝鮮中高級学校の調べで、チマ・チョゴリを着た生徒に嫌がらせが31件あったことがわかった
8位	新横浜ラーメン博物館がオープン。昭和30年代の街並みが再現され、人気の8店の味も楽しめる
9位	12月下旬に開通する首都高速湾岸線の斜張橋の名称が『鶴見つばさ橋』に決定。全長1,020メートルで一面づくりの斜張橋としては世界一
10位	全国有数の横浜市中央図書館が全面オープン。市内各区の図書館とオンラインにより、全図書館の総蔵書数200万冊以上の資料が自由に検索可能

平成7年(1995年)	
1位	阪神・淡路大震災発生。横浜市では被災地に物的・人的援助を行うとともに、市内の防災対策について、避難場所の見直し等の様々な施策を展開した
2位	磯子区の坂本弁護士一家3人の遺体を発見。オウム真理教の犯行と見られ、10月には横浜アリーナで合同葬が行われ約2万6千人が参加した
3位	東京で地下鉄サリン事件が起り、横浜市営地下鉄をはじめ、市内交通機関では、駅構内と車両内の一斉点検などの対応を行った
4位	横浜駅などで異臭騒ぎ。のどや目の痛みを訴え、500人以上の人が病院で手当を受けた。サリン事件との関わりはなく容疑者は7月に逮捕された
5位	横浜の連続真夏日が39日間の新記録。7月23日から8月30日まで真夏日が続いたもので、横浜気象台開設(1897年)以来の記録となった
6位	フランスがムルロア環礁で核実験を強行。高秀市長は遺憾のコメントを表明するとともに、フランスと中国に核実験反対の抗議文を送った
7位	沖縄の少女暴行事件を発端に日米協定見直しの動き。市内には米軍基地・施設が9か所あり、高秀市長も「見直しの話し合いをしてほしい」とコメント
8位	缶、ビンなどの資源化分別ごみ収集が市内全域で開始された。年間約3万9千tのスチールアルミ、びんがリサイクルされる
9位	「ポイ捨て条例」可決。来年4月1日から施行。同条例ではごみポイ捨てに対する罰金、自販機への回収容器の設置。歩行中の禁煙義務などを定めている
10位	短銃による強盗・強盗殺人事件の容疑者の一人を逮捕。7月から港南区をはじめ南区、金沢区で短銃による事件が連続3件発生していた
平成8年(1996年)	
1位	少雨のため異常渇水対策本部を設置。2月、3月及び7月に給水制限を実施した
2位	病原性大腸菌「O(オー)157」が横浜市内で初検出。市では、同菌による食中毒の予防を呼びかけた
3位	ポイ捨て防止条例が施行。歩行中の禁煙の自粛等を求めているのが、この条例の特徴
4位	市内の4小学校で、集団食中毒が発生。原因は病原性大腸菌「O(オー)25」と判明した
5位	栄区内のJR東海道線で相次いで起きた「線路への置き石事件」で、地元警察署は、カラスの仕業と断定した
6位	サッカーの2002年ワールドカップの会場数を、日韓各6～10と正式決定
7位	市は2008年夏季オリンピックとパラリンピックの開催都市に、正式に立候補
8位	横浜駅西口で、ビルの上から10キロもある石臼やコンクリートの塊を落とす、悪質ないたずらが起きた
9位	サッカーの2002年ワールドカップは、国際サッカー連盟の決定で、日本と韓国の共同開催と決まった 小選挙区比例代表並立制となって初の衆議院議員総選挙が実施された。全国の小選挙区の投票率は、59.65%、横浜市は55.90%であった
平成9年(1997年)	
1位	7万人を収容する国内最大級のスタジアム「横浜国際総合競技場」が港北区に完成
2位	粗大ごみ・事業系ごみ全量有料化開始
3位	横浜ベイスターズ18年ぶりの2位。チーム70勝超えは33年ぶりの記録
4位	MM21地区「クイーンズスクエア(QS)横浜」がオープン
5位	横浜港付近でタンカー事故が相次ぐ。7月に本牧沖で原油流出事故、10月には金沢沖で可燃性化学物質流出事故
6位	横浜元町に本店を置くココ山岡が破産宣告を受けた
7位	2008年夏期五輪、国内候補都市は大阪市に
8位	365日ホームヘルプサービスを開始。24時間相談や日曜・年末年始もサービスを受けられるように
9位	神大が大学箱根駅伝で初の総合優勝。史上初、予選会から勝ち上がっての総合優勝を成し遂げた
10位	10月の横浜市の降水量が22～23mmで、1897年の観測開始以来最小となった

平成10年(1998年)	
1位	横浜ベイスターズ38年ぶり日本一セ・リーグ制覇に続き、日本シリーズでも優勝。優勝効果で市内経済も活性化
2位	横浜高校、甲子園春夏連覇 史上5校目
3位	横浜国際総合競技場オープン。国内最大の7万人を収容する
4位	箱根駅伝で神奈川大学総合V2。往路復路とも制し、2年連続2度目の総合優勝を果たした
5位	かながわ・ゆめ国体秋季大会。神奈川県は男女総合で初の優勝を果たし、天皇杯を手にした
6位	横浜マリノス、横浜フリューゲルス合併調印
7位	横浜市長に高秀氏3選。投票率34.11%
8位	大雪が交通機関を直撃。横浜で20センチの積雪を記録
9位	横浜みなとみらいホールが全館オープン。パイプオルガンを備えた大ホールは観客席2020席
10位	「横浜ベイサイドマリーナ・ショップス&レストランズ」オープン。金沢区に日本最大のアウトレットモール
平成11年(1999年)	
1位	横浜市大病院患者取り違え手術。肺の手術患者と心臓の手術患者を取り違えて手術する医療ミスが起きた
2位	よこはま動物園「ゾーラシア」オープン。国内初公開のオカピやインドライオンなど59種を展示
3位	サッカー2002年W杯決勝戦開催地が横浜に決まる
4位	半透明ごみ袋への切り替えスタート
5位	横浜ワールドポーターズなど開業し、新港地区にぎわう
6位	コンピュータ2000年問題で正月警戒
7位	市営地下鉄戸塚－湘南台駅間が延伸開業
8位	「地域振興券」交付。市では全国最多の71万2千人が対象となった
9位	がけ崩れ、マンション埋まる。南区の7階建てマンション裏のがけが崩れ、3階部分まで土砂が押し寄せた。がけ上は米軍住宅敷地だった
10位	「要介護認定」申請受付スタート。介護保険サービスを受けるため、介護の必要度を測るもの
平成12年(2000年)	
1位	青葉区在住の筑波大学名誉教授白川英樹氏が、ノーベル化学賞を受賞。市では、横浜文化賞学術特別賞を贈呈
2位	介護保険制度スタート。横浜市は、独自に所得段階ごとに6段階の介護保険料額を設定し、低所得者の負担を軽減
3位	そごうグループが、民事再生法の適用を東京地裁に申請し、財産保全命令を受けた。全国展開している大手百貨店では戦後初の倒産
4位	半透明ごみ袋による収集が本格スタート。当初はルール違反が20%近くに及んだが、3週間後には94.4%の利用率
5位	手術患者取り違え事故から丸1年の市大医学部付属病院では、「事故防止マニュアル」に基づく医療行為の総点検を全部署で実施
6位	サッカーJリーグ1部第1ステージ、横浜F・マリノスが奇跡の逆転で5年ぶりの優勝を決めた
7位	雪印乳業の乳製品による集団食中毒で、市内の乳処理施設へ監視強化を図るとともに、学校給食での雪印乳業製品の取り扱いを中止
8位	ゾーラシアで、日本で初めて「オカピ」の赤ちゃん出生。絶滅危惧種のインドライオンの子も誕生。9月には入園者数300万人を突破
9位	横浜情報文化センターが情報文化の発信拠点として、中区日本大通にオープン。日本新聞博物館、放送ライブラリー、多目的ホールなどを備えている
10位	横浜ベイスターズ金城選手が新人王と首位打者を獲得。チームも球団史上初の4年連続Aクラス入り達成

平成13年(2001年)	
1位	米国同時多発テロ発生 ニューヨークの世界貿易センタービルなどで同時多発テロが発生
2位	日本で初の牛海綿状脳症発生 9月に千葉県内で牛海綿状脳症に感染した牛が確認された
3位	皇太子妃雅子様が12月1日に女児をご出産された。御名は愛子さま・御称号は敬宮さま
4位	横浜市は、4月1日から家電リサイクル法施行に伴い、家電4品目を粗大ごみ対象から除外した
5位	JR山手線新大久保駅で線路に転落した男性を助けようとした市内在住の関根史郎さんと韓国人留学生の李秀賢さんが悲劇的な最後をとげた
6位	大手スーパー、マイカルが経営破綻し、民事再生法の適用を申請した。そごうグループに次ぐ過去2番目の大型経営破綻となった
7位	横浜市では市民が情報機器を利用し市民生活が便利になるように、パソコンの初心者を対象に「横浜市IT講習」を実施した
8位	現代美術の国際展「横浜トリエンナーレ2001」開催 38か国からオノ・ヨーコさんら109人が出展
9位	韓国・釜山で抽選会が行われワールドカップサッカーの一次リーグの組み合わせ決定 横浜国際総合競技場では3試合が行われることになった
10位	地区センターなど市民利用施設の無休化、開館日の拡大を図った
平成14年(2002年)	
1位	2002年ワールドカップサッカー大会 決勝戦横浜で開催
2位	横浜市長に中田宏氏が初当選 現職・新人4氏の中から選ばれた中田宏新市長は37歳で全国12政令指定都市で最年少
3位	アゴヒゲアザラシのタマちゃん現わる 横浜市民の間でも大人気となった
4位	横浜市は住民基本台帳ネットワークに横浜方式を導入
5位	赤レンガ倉庫がオープン 当初の年間来場者見込みの300万人を、開業後わずか4か月で突破した
6位	横浜市の人口が350万人を突破
7位	6月1日に横浜港大さん橋国際客船ターミナルが一部を除きオープンした
8位	市長を3期務め、ワールドカップサッカーの横浜開催に尽力した高秀秀信前横浜市長が8月29日に73歳で急逝した
9位	1964年8月の開園以来、観覧車や衛兵パレードなどで人気を集めた横浜ドリームランドが、最近の業績不振で38年の歴史に幕を下ろし閉園した
10位	横浜国際プールで初めての競泳の国際大会となるパンパシフィック水泳選手権大会が開催された
平成15年(2003年)	
1位	統一地方選挙実施・23人の新人の市会議員が誕生・松沢新知事誕生
2位	タマちゃんの住民票が大人気 アゴヒゲアザラシのタマちゃんが、横浜市西区に住民登録された。帷子川から姿を消した
3位	横浜F・マリノスJ1完全優勝 年間優勝は8年ぶり2度目
4位	みなとみらい線の開業日決定 開業日が平成16年2月1日に決定
5位	「ヨコハマはG30」のスタートダッシュ 「横浜G30プラン」でごみの減量・リサイクルを進める
6位	市営地下鉄全席優先席 東日本の私鉄で初めて
7位	ごみの分別品目拡大のモデル事業スタートで家庭ごみが30%削減 モデル事業を市内約40,000世帯を対象に開始
8位	野毛山動物園のインドゾウ「はま子」死亡 推定59歳国内で飼育されているゾウでは2番目に高齢
9位	赤レンガ倉庫開業1周年で来館者680万人 さらに、本年11月には1,000万人に達している
10位	敬老パス一部有料化 平成15年10月から所得に応じて一部有料化した

**平成16年(2004年)**

1位	みなとみらい線開業 東京の渋谷と横浜の元町・中華街を結ぶ「みなとみらい線」が開業
2位	市内小・中学校で二学期制導入 横浜市内の約97%の市立小・中学校で、二学期制が導入された
3位	家庭ごみ分別品目拡大 10月から市内先行6区で家庭ごみの分別収集を10分別15品目に拡大実施
4位	大型台風続けて来襲
5位	市内医院で中絶胎児を一般ごみとして廃棄 横浜市長が告発した
6位	みなとみらい21地区に日産自動車本社機能の移転などが決定
7位	横浜F・マリノス年間優勝 ステージ優勝は通算5度目、連続3ステージを制はJリーグ史上初。12月のチャンピオンシップ年間優勝
8位	横浜ベイブリッジ下層部に国道357号開通
9位	個人情報に関するトラブル相次ぐ
10位	インフルエンザやコイヘルペスなどウイルス性感染症流行 市民に不安が広がる

**平成17年(2005年)**

1位	G30ごみ分別拡大全市実施。工場の改修費1100億円節減へ
2位	マンションの耐震強度偽装が発覚 横浜市内の建築物も耐震性の調査を実施し、危険な建物は使用禁止命令を発令
3位	老舗デパート「横浜三越」閉店 後には11月に家電量販店がオープンした
4位	横浜国際総合競技場が日産スタジアムに改名 日産自動車に命名権を売却
5位	アスベスト(石綿)問題広がる 対策会議、公共建築物使用実態調査、市立大学付属病院の専門外来開設
6位	横浜観光スポット周遊バス「あかいくつ」運行開始 愛称の「あかいくつ」は市民からの公募
7位	横浜市生まれの野口聡一さんがハマのドングリと宇宙飛行へ
8位	衆議院議員総選挙で自民党が圧勝
9位	横浜市役所で34年ぶりの大幅な局再編
10位	ヤンキー先生が横浜市教育委員に就任

**平成18年(2006年)**

1位	横浜市長選挙で中田市長再選
2位	「G30」の目標5年前倒しで達成。ごみ量大幅減
3位	「氷川丸」と「マリンタワー」売却決定
4位	ビジネスホテルチェーン大手の東横インで違法改造が発覚
5位	横浜市の人口が360万人を突破
6位	初の横浜港船籍客船「飛鳥Ⅱ」誕生
7位	相鉄と東急・JR相互乗り入れへ本格始動
8位	横浜FCがJ2リーグ優勝と同時にJ1へ昇格
9位	第78回選抜高校野球大会で横浜高校が優勝
10位	市営バス路線再編成、58路線の整理・手続決まる

平成19年(2007年)	
1位	県内最大級の商業施設「ららぽーと横浜」がオープン
2位	横浜駅など3地区で路上喫煙を禁止、違反者に過料2000円
3位	40年ぶり帰郷 日産自動車が新本社起工式
4位	横浜市長の任期を連続3期までとする多選制限条例成立
5位	野毛山動物園入園者5千万人達成
6位	市営バス路線再編決まる
7位	第2、4土曜に全区役所で窓口業務実施
8位	150万本植樹への宣言
9位	交通局バス営業所職員売上金窃盗容疑で逮捕
10位	「ハマボール」36年の歴史に幕
平成20年(2008年)	
1位	横浜市営地下鉄の新路線グリーンラインが開業
2位	ポイ捨て・喫煙禁止条例スタート
3位	横浜松坂屋144年の歴史に幕
4位	ダイヤ改正ですべての新幹線が新横浜駅に停車
5位	中国製ギョーザ食中毒発覚
6位	「ヨコハマはG30」平成18年度のごみ減量成果を上回る
7位	氷川丸リニューアルオープン
8位	横浜市が「環境モデル都市」に選定
9位	第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)横浜市で開催
10位	横浜開港150周年マスコットキャラクター「たねまる」デビュー
平成21年(2009年)	
1位	中田横浜市長(当時)退職
2位	横浜開港150周年記念イベント「開国博Y150」開催
3位	第30代横浜市長に林文子氏が当選し横浜市初めての女性市長が誕生
4位	横浜マリントワーがリニューアルオープン
5位	日産自動車が41年ぶりに横浜に本社移転
6位	「2009横浜国際女子マラソン大会」が横浜で初開催
7位	横浜開港150周年を記念して「象の鼻パーク」がオープン
	衆議院議員選挙で民主党が圧勝。市内8の小選挙区でも6議席を獲得
9位	横浜市の高校生に、新型インフルエンザ国内初感染の疑い
10位	理数科市立高校「横浜サイエンスフロンティア高校」が開校

**平成22年(2010年)**

1位	APEC首脳会議、横浜で開催
2位	球団売却騒動に揺れた横浜ベイスターズ、来季も横浜を本拠地に
3位	猛暑で熱中症での救急搬送が過去10年で最多を更新
4位	横浜市役所で3億円の不適切経理を発表 港の展望楽しめる観光名所「スカイウォーク」が閉鎖
6位	燃やすごみ収集「年間を通じて週2回」へ変更
7位	原宿交差点立体化12月に全線開通
8位	市営地下鉄事業が25年ぶりの黒字
9位	日本初！赤レンガ倉庫がユネスコの賞を受賞
10位	富士ゼロックスなど、MM21に企業が相次いで拠点を移転

**平成23年(2011年)**

1位	東日本大震災発生 市内でも震度5強観測
2位	横浜DeNAベイスターズ誕生
3位	放射性物質が広く横浜市にも飛散
4位	なでしこジャパンが優勝。横浜ゆかりの5選手に横浜市スポーツ栄誉賞
5位	横浜開港100周年を記念し建設された横浜マリントワーが開業50周年に
6位	横浜出身の古川聡さんが宇宙から帰還。日本人最長の167日宇宙滞在
7位	市民利用施設、大口電力施設等で節電取組を実施
8位	焼肉チェーン店における食中毒事件発生 市内でも
9位	横浜舞台の「コクリコ坂から」公開キャンペーン実施
10位	タイガーマスク現象で市内施設に寄附相次ぐ

**平成24年(2012年)**

1位	横浜DeNAベイスターズが新生チームとして始動
2位	金環日食を横浜でも観測、小学校やズーラシアなど各地で様々なイベント開催
3位	「原鉄道模型博物館」が鉄道発祥の地 横浜のMM21地区に開館
4位	衆議院が解散し、12月に投開票が行われる「師走選挙」
5位	横浜港への客船寄港数が10年連続で日本一の見通しに
6位	市内の保育所待機児童が179人となり、前年比で792人(82%)減少
7位	「高速横浜環状北西線」事業に着手 横浜港と東名高速道路を直結へ
8位	劇団四季「キャッツ」横浜公演千秋楽 ロングランに幕
9位	世界遺産登録に向け、「武家の古都・鎌倉」の構成資産、称名寺、朝夷奈切通など現地調査
10位	横浜市大グループがiPS細胞から人の肝臓作製に成功と発表

平成25年(2013年)	
1位	みなとみらい線、東横線と副都心線が直通運転を開始、横浜市中心部と 埼玉県西部が繋がる
2位	保育所待機児童ゼロ達成、全国で「横浜モデル」として奨励されることに
3位	横浜出身、17歳の白井健三選手が世界体操競技選手権大会 男子種目別・床で金メダル獲得、新技に「シライ」の名称も
4位	市長選で、林市長が再選、2期目のスタート
5位	東京五輪が2020年開催決定、横浜では日産スタジアムでサッカーを開催予定
6位	踏切で死亡事故が相次ぐ、生麦で高齢者、中山では救助に向かった女性が犠牲に
7位	みなとみらい事業着工30周年、ランドマーク開業20周年で記念イベント開催、「マークイズ」「オービィ横浜」なども開業し、オープンカフェもスタート
8位	横浜港が11年連続で客船寄港数日本一へ、4隻の大型外国客船も初入港
9位	横浜市人口が370万人突破、全国市町村で最多を維持
10位	アルジェリアで邦人拉致事件が発生、地元企業の関係者10名が犠牲に
平成26年(2014年)	
1位	首都圏で記録的大雪、横浜の積雪28センチは観測開始以来7番目の多さ
2位	横浜初の市民参加型フルマラソン「横浜マラソン2015」が開催決定、地元優先枠(3,000人)に3万人超が申込み、抽選倍率は約10倍
3位	10月に大型台風18号、19号相次いで日本上陸、横浜でも被害、崖地の防災対策を進める
4位	「よこはまウォーキングポイント事業」スタート、健康寿命日本一を目指して
5位	野毛山動物園のツガルさん大往生、世界最高齢フタコブラクダ
6位	JR桜木町駅に北改札新設、「CIAL桜木町」もオープン
7位	横浜DeNAベイスターズ観客動員数が歴代最多の約156万5千人、中畑監督の続投も決まる
8位	横浜港が客船寄港数12年連続日本一へ、大型外国客船「ダイヤモンド・プリンセス」が横浜発着クルーズ20回以上
9位	「ヨコハマトリエナーレ2014」開催、現代アートの国際展
10位	横浜F・マリノス、サッカー天皇杯で21大会ぶり7度目の頂点に
平成27年(2015年)	
1位	市内のマンションや中学校等で建物のくい打ちデータの流用等が確認される
2位	市内初の市民参加型フルマラソン「横浜マラソン」が開催、約2万3千人が横浜を駆け抜ける、コースには日本で初めて首都高速道路も
3位	市営地下鉄ブルーラインの快速運転開始、横浜駅～新横浜駅間がノンストップで8分など利便性が向上
4位	市内経済と商店街の活性化につながる「よこはまプレミアム商品券」115.2億円分発行
5位	ラグビーW杯2019決勝戦が日本ラグビー発祥の地 横浜で開催決定、サッカーに続き2つのW杯決勝戦が同じ会場で行われるのは世界2か所目
6位	JR戸塚駅の「開かずの踏切」について解消、「戸塚アンダーパス」が開通、記念式典では1万人以上の市民が歩いて渡り初め
7位	横浜DeNAベイスターズ主催試合の観客動員数が実質過去最高の約181万4千人、新監督に「ラムちゃん」就任
8位	横浜駅東口の「横浜新都市ビル」が開業30周年、西口では「横浜駅西口開発ビル(仮称)」着工、「相鉄ジョイナス」「横浜ビブレ」がリニューアル
9位	よこはま動物園ズーラシアで新エリア「アフリカのサバンナ」全面開園、肉食・草食動物4種を混合で展示
10位	「よこはまウォーキングポイント」1周年、参加申込者が15万人を突破、新たに市内事業所も参加し「働く世代」の健康づくりを推進

平成28年(2016年)	
1位	横浜DeNAベイスターズがCSファイナルステージ初進出、観客動員数が約194万人で球団史上最高を更新
2位	大口病院で患者中毒死事件発生、市が臨時立入検査を実施
3位	「ハマの番長」横浜DeNAベイスターズ 三浦大輔投手が今季限りでの現役引退を表明、多くのファンが見守る中9月29日引退
4位	選挙権年齢18歳以上に引き下げの参議院選挙で、横浜市の10代投票率が全政令市で1位
5位	氷川丸が国の重要文化財に指定、海上で保存されている船舶で初
6位	リオ2016オリンピック・パラリンピックで、体操男子団体総合金メダルの白井健三選手ほか横浜市ゆかりの選手が大活躍
7位	平成27年国勢調査により、横浜市の人口が過去最多の372万人に
8位	中学生向けの横浜型配達弁当「ハマ弁」、7月から先行12校でスタートし、29年1月の全校実施に向け9月以降順次拡大
9位	8月のIOC総会において、横浜スタジアムが東京2020オリンピックの野球・ソフトボール競技の主会場予定地として紹介される
10位	「よこはまウォーキングポイント」参加資格を18歳以上に拡大、参加者が21万人を突破
平成29年(2017年)	
1位	横浜DeNAベイスターズ、19年ぶりの日本シリーズ進出
2位	横浜市長選で林文子氏が3選、第32代市長に就任
3位	横浜スタジアム観客席6,000席増へ 11月に着工、東京2020オリンピック前の平成32年2月の完成を目指す
4位	特定外来生物「ヒアリ」が横浜港でも発見され公民で迅速に対応、引き続き水際対策等に取り組む
5位	「第33回全国都市緑化よこはまフェア」開催、来場者数が約600万人、里山ガーデン大花壇は秋も公開
6位	横浜市北部から羽田空港や横浜港へのアクセス強化が図られる「横浜北線」、横浜港の南本牧ふ頭と本牧ふ頭を結ぶ「南本牧はま道路」がそれぞれ3月に開通
7位	神奈川大学が全日本大学駅伝で 20年ぶり3度目の優勝を飾る
8位	「帆船日本丸」が国の重要文化財に指定、海上に保存されている帆船では我が国初 天皇皇后両陛下が御視察
9位	「ピカチュウだけじゃないピカチュウ大量発生チュウ！」開催、今年も横浜が大賑わい
10位	10月下旬に2つの台風が全国各地で猛威、衆議院議員総選挙や横浜マラソンにも影響
平成30年(2018年)	
1位	成人式の晴れ着トラブルで市民や団体等から支援の申出多数、横浜市は特設ホームページや相談窓口を設置
2位	南区出身で「横浜にぎわい座」2代目館長、落語家の桂歌丸さんが死去(81歳)
3位	相鉄線 星川駅～天王町駅間が全線高架化 事業開始から16年の歳月を経て、高架区間内の全ての踏切がなくなる
4位	暑い夏 平年に比べ梅雨明けが22日早く、市の調査では熱帯夜が51日と最多日数を 観測 熱中症による救急搬送人員が過去最多の1,711人に
5位	横浜DeNAベイスターズ、3年連続のCS出場は果たせずも、シーズン観客動員数が 球団史上最多となる200万人に到達
6位	横浜のまちを花と緑で彩る「ガーデンネックレス横浜2018」を開催
7位	市内で東京2020オリンピック各種競技(野球・ソフトボール、サッカー)の決勝戦が開催決定 大会本番に向けて横浜市・都市ボランティアも募集開始
8位	京急創立120周年、JR横浜線開業110周年、さまざまな記念イベントを実施
9位	横浜マラソンが2年7か月ぶりに開催 快晴の秋空の下、2万8千人のランナーが横浜のまちを駆け抜ける
10位	市営地下鉄グリーンラインが開業10周年、市営バスは開業90周年

中央図書館では、みなさまの調査研究・問題解決のお手伝いをしています。  
お気軽に各階カウンター・電話・ホームページの申込フォームにてお問い合わせください。  
電話：045(262)0050  
ホームページ： <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/shirabemono/referance.html>

横浜中央図書館